

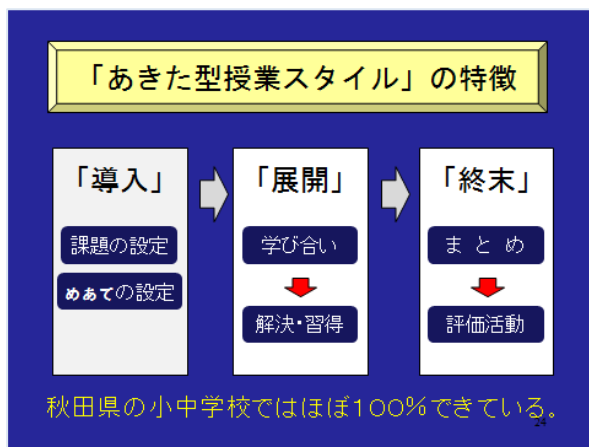
四條畷市教育フォーラム 2014

平成 26 年 2 月 1 日（土） 13:30~17:00

市立市民総合体育館多目的室

参加者

	教職員	保護者地域	計
スタッフ	32	0	32
小学校	58	63	121
中学校	34	36	70
幼稚園・保育園	2	1	3
地域関係者	0	21	21
市役所	0	4	4
教委他府市町村	0	12	12
国府市議会議員	0	10	10
合計	126	147	273



設問結果

	四條畷市教育フォーラム2014アンケート集計					2014.2.1 5.00満点				
	今回の内容は、あなたの期待にこたえていましたか					今後の子育てに参考にしようと思いましたが				
	とても	まあまあ	あまり	まったく	満足度	とても	まあまあ	あまり	まったく	活用度
小学校教職員	25	10	0	0	4.71	23	9	0	0	4.72
中学校教職員	4	6	0	0	4.40	4	7	0	0	4.36
保護者	19	26	3	0	4.21	23	23	2	0	4.44
市職員	1	0	0	0	5.00	1	0	0	0	5.00
地域関係者	6	6	1	0	4.38	5	5	2	0	4.25
市議会議員	1	0	0	0	5.00	1	0	0	0	5.00
全体	56	48	4	0	4.48	57	44	4	0	4.50

参加者意見感想

小学校教職員

- 学力向上にむけて学び合いの大切さや、ねらいの明確さをこれからの授業に活かしていきたいです。
- 秋田についてとても興味があったが、本だけでなく実際に話を聞くと、明日から頑張らなくては思いました。
- 今回教育フォーラムのテーマにすごく興味を持ったので参加しました。「秋田県の学力がなぜ高いの？」という理由がよく分かりました。秋田県全体の取組みなどをお聞きして、自分もやってみよう、学校に持ち帰って、他の先生たちにお伝えしようと思いました。すごく参考になるお話ばかりで、あっという間の時間でした。ありがとうございました。
- 秋田県の学力の高さにはとても興味深いものがありました。なぜなのか。学力テストの練習をしてテスト慣れをしているから、という考え方を聞いたことがありますが、そうではないことがわかりました。では、学力を高めるために学校では何ができるのか、ということですが、まず第一に「授業改善」。教師全体が共通理解を図り、一つの同じ目標に向かって授業をシステム化し、子どもたちが主体的に学べる場面を設定することが大事だということ。言葉でいうのは簡単ですが、子どもたちに確かな学力をつけるためには、まず教師自身が授業を見直し改善する必要があるのだと感じました。そのためには教職員間や行政との連携、秋田や他市でもあるような教育専門員や電子黒板の導入など、必要なものを取り入れていくことも大事だと思います。

- 秋田の授業 **めあて** - **ふりかえり** 研究授業などではやるのですが、全授業ではなかなかできていないのが現状なので改めたいと思いました。大阪では、みんな何かしよう！とするとなかなか足並みがそろわないことも多いです。オリジナリティあふれる部分と一斉に取り組もうとする部分のバランスがもっと上手に取れたら大阪もよくなると思いました。志水先生の資料にもあったように、教育をよりよくするためには、人と予算が絶対必要です。予算、人員を削減して学校、教育がよくなることはありません。今日のお話はとてもためになりました。ありがとうございました。
- もっと授業の中で子どもが前に出る場面をふやそうと思いました。一つ一つの授業を大切に、わたしもこれから「まとめ」「めあて」を大切にしていきます。学校だけでなく保護者・家庭・地域が協力して子どもを育てていかなければならないと感じました。
- もっと1時間ごとのめあてを具体化しなければと反省した。そして「話し合いは目的ではなく、手段である」ということを再認識できた。秋田と大阪（四條畷）の違い、秋田のよさを知れてよかったと思う。
- 秋田型授業スタイルについて「めあて」——「まとめ」の基本スタイルなど、日々の授業で実践していきたい、いかねばと考えさせられる機会になった。また、職場に持ち帰り、本日の話、学んだことについて話し合いたい。本日はありがとうございました。
- ありがとうございました。やはり、教師が授業改善すること、そして課題をやりきらせること。1番は、みんながファミリーとして一つになること。それと「めあては子どもたちのために、」であると思います。
- 話し合い活動、家庭学習…とても参考になる内容でした。ぜひ、明日からの取組みに活かしていきたいと思います。
- 教員が気持ちをそろえることが大事。自由勉強とノートを点検する時間の確保が難しい。いつ、どのようにしているのか知りたい。
- せっかくいいお話を聞けるので、夏休みの平日午後など、たくさんの教職員が参加できる日程にしてほしい。一教師としてだけでなく、一親として大変勉強になりました。保護者も来ている中、また教師向けだなあと感じましたが、最後、保護者にしてほしいことにも触れてもらえてよかった。
- パネルディスカッションがとてもよかったです。月曜日から課題（めあて）とまとめをしっかりといてこうと改めて思いました。そして、提出物の全回収。甘いかもしれませんが、この二つからきっちり取り組みます。ありがとうございました。
- 多賀谷先生、志水先生のお話を聞き、秋田県の生の実践例を学べてとてもいい勉強になりました。地域や環境に様々な違いがあれど、まず教員が本気で子どもたちと向き合い、力を伸ばしていける取組みを実践していかなければいけないと強く感じました。貴重なお話、ありがとうございました。
- 今日はお忙しいところありがとうございました。今回のフォーラムで感じたこと、考えさせられたところたくさんありました。その中で、一番願っていることを書かせてもらいます。多賀谷先生の一言で「秋田はそろえるのが得意」という言葉がありました。授業のスタイル、指導主事に対する考え方なども含めてこの市ではとても「個」は強いが「協」という面で非常に弱いと感じています。それは先生の仕事の負担の違い、また、事務的仕事の効率性がそうさせているのかなと私なりに考えています。一人ひとりの心のゆとり時間のゆとりをもっと平準化して減らすことが「協」という面を上げるのではないのでしょうか。そういったところを見返しながら、学力という面に目を向けたいと思います。「一人ひとりのがんばりたい」という気持ちを上げる。その気持ちの中でこういった研修でモチベーションを上げることで「協」につながるのではないのでしょうか。
- 学習指導にのみ全力を注げることが大阪と全然違うと思う。学校のみならず、地域家庭と一体となり、教育を進めるところに大阪とのギャップもあると思う。環境の違いもかなり大きい。学んだと

ころ、まねしていけるところは実践していきたいと思う。

- 志水先生のお話はすごく良かったですですが、昨年の話を聞いていないとわかりにくい部分もありました。合わせるのが得意な秋田の県民性だからこそできる部分もあるのかなと思ったりしましたが、取り入れられる部分は取り入れられたらと思いました。
- パネルディスカッションでの授業スタイルのポイントなど、普段から疑問に思っていたところを聞くことができよかったです。一言日記や自主勉ノート、家庭学習などに今後意識して取り組んでいかななくてはいけないと思いました。
- 志水先生のお話は学力の根本的なことについて系統的に教えてくださったので、日常の教育実践に役立つと思いました。秋田の現状のお話は目からうろこでした。細かな指導方法や子どもたちの学力育成について、大変参考になりました。ぜひ実践していきたいと思います。
- 秋田県の授業力向上をまねて、もっと熱心に教材研究や研修を行っていかないと、子どもたちがいきいきするようなわくわくするような授業にならないと思い、とても反省しました。また、秋田を紹介している本をたくさん読んで参考にしようと思いました。毎授業、もっと教師の発言を減らし、子どもの発言や発表を大切にしようと思いました。ただ1つ「よいでない」子や保護者とのトラブルや学力の低い家庭学習もしない（サポートのない）子どもへの対応はどうされているのか、知りたかった。
- 貴重な時間をありがとうございました。自分の未熟さはわかっているのですが、どう改善していけばいいのかわからなくて悩んでいたのも、一つの道筋を与えてもらえました。自分の子どもも今年の春、小学校入学なので、家庭学習の大切さも学べて本当にためになりました。なかなか大阪文化とは気候も気質も違うので同じようにはいかないと思いますが、一つの目標に向かって協力していけたらと思いました。ありがとうございました。
- すごく参考になりました。今後「あきた型授業スタイル」をやりたいと思います。やはり一回だけではなく、日々やっていくことで学力が定着していくのだらうと思う。めあて、グループ学習、まとめをしっかりやるなど取り入れていたが、やったり、やらなかったり…。日々コツコツやっていくことだなあとと思いました。
- 授業の見通しを持ち、児童に考えさせることの大切さを学びました。
- 毎時間の「めあて」と「まとめ」が大切で、その手段として「話し合い活動などの展開」がある一連の流れが授業の基盤となることを改めて学び、来週からの授業にぜひいかそうと思いました。ありがとうございました。
- ・「ねらいをより具体的に」・グループ活動の前に個人で考える・小1～中3までの家庭学習を毎日出す・同じ日本でもこんなに違うのかとびっくりしました。取り入れられるところは、どんどん取り入れたいと思いました。
- 秋田県のシステムや取組みの一端がわかり、大阪府の四條畷でできることはやっていかないといけないと感じた。教師が協力していかなければならない。
- やはり地域の持つ力の大きさが大切だと感じました。自分の勤務する学校の地域では、あまり教育に関心も高くないのが現状です。しかし、志水先生、多賀谷先生のお話を聞く中で、家庭とつながっていけるような努力をしていかななくてはならないと強く思いました。「まずは子どもを変える。そして親を変える」ということをこれから実践していきたいです。本日はありがとうございました。
- 普段の授業の中で生徒指導も人権教育も進めていくという考え方に共感しています。どんな課題（家庭環境、学力）があろうとも、「目の前の子どもの可能性を最大限に伸ばす実践」を授業の中心とし、全教育活動を通して行っていきたいと思いました。学校づくりのヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。

- 自分自身の改善点がよく見えてきました。特に「導入―展開―終末」の流れの部分で「100%」できていないので「100%やりきる」といったことをしっかりやっていこうと思いました。また、「よいでない子」やその家庭を中心にもっとつながっていこうと思いました。自分自身も改善しつつ各家庭にお伝えできることはしていこうと思います。先生方ありがとうございました。
- たくさんの研究をされている先生や委員会現場を経験されている先生のお話は聞いているだけでためになるものばかりでした。この研修で学んだことを、子どもたちにしっかりと返すことができるよう明日からも努力しつつ生きていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 学力の前に生徒指導上の問題がある学級において、どのように対応していけばいいのかをお話ししていただきたいと思いました。
- 授業づくりにおけるめあての設定方法について、大変参考になりました。今までもめあては板書していましたが、今後、より具体的に示していこうと思いました。ありがとうございました。

中学校教職員

- 秋田の教育現場を見たことがないので、生徒の様子や指導の様子を聞いてもあまりピンとこなかった。実際に視察団なども行き来しているようなので、他県との交流をもっと深めていくことができればと思った。家庭学習や親も読書感想文を書くという話を聞き、学習できる家庭環境であるということが、子どもたちの学力向上に大きく関係しているのだろうと感じた。やはり学校だけでなく家庭とも協力し合って子どもたちを成長させていくことが大切であると思われる。
- とてもよかった。現状を少しでも変え、行動し習慣化したい。
- 秋田と大阪では、違いすぎる面もありますが、できるところは学んでいこうと思いました。ありがとうございました。
- 秋田の話はとても参考になりました。課題設定とまとめが大事だということがよくわかりました。
- 秋田では指導主事がしっかり指導している。指導主事に指導された経験がないのですが、…？私も指導をしていただきたいです。自主勉ノート提出が100%！現在私の授業で9割が宿題を出しますが、それでも高いほうだと思っていたのですが…ショックです。1時間の授業をもっと深めて事前に準備もし、自分の目標をしっかり定めて授業をするべきだと反省しました。担任は自勉ノートと一言日記に毎日コメントを書いているようですが時間保障はあるのでしょうか。
- 本当に勉強になりました。秋田県は市と学校のつながりが強いので、授業改善にすぐつながってくる。すぐ改善するので学力にもつながっていく。すごく市や学校（教職員）が努力しているように感じました。私も授業を見直し、今日学んだことを参考にしていこうと思います。授業改善がこんなに大切なものだとは思っていませんでした。
- とても参考になり、興味深く聞かせてもらいました。秋田との環境などの違いも感じました。
- 話し合い活動の中で支援の必要な生徒へのアプローチはどうすればよいか。情緒面での不安感を持つ生徒にとっては非常に苦手な部分であり、サポートは必要なのだと思うのですが、別の機会にでもお聞きしてみたいです。改めて再確認させていただいた内容も多かった。
- とても有意義でした。次回の講師も今回同様、興味深い内容をしてくださればと思います。ありがとうございました。

保護者

- 志水先生の話は大変わかりやすく、ためになるお話でした。秋田の実情の話、福井の話、茨木市の話など大変分かりやすく参考になりました。四條畷市は地域とのつながりもする田舎なので十分のびる可能性はあると思います。※学校統合せず小規模校で維持してほしいです。秋田方式、めあて

を明確にする、話し合う、まとめ、は大変参考になった。一つの授業で必ず課題を明確にするのは大切だと思う。家庭学習の大切さもよくわかりました。四條畷市でも秋田に追いつくように1歩ずつ取り組んでほしいと思います。四條畷市の先生方も皆さん頑張っておられていると思います。これからも頑張してほしいです。

- 保護者として学校との関係づくりを強化してく必要があると思いました。授業参観などで保護者が集まった時に、いろんな取り組みをする必要があると思いました。
- 自分が子どものころは塾に行く子はほんの一部であったが、それでも学校の授業だけで高校も心配することなく、選べるような学力がついていた。わが子は塾に入ると前よりもどんどん成績が下がり、授業参観に行っても静かに授業をみんなが聞けていない状況を見ると納得できる学力だと思います。授業の中のグループ活動（話し合い）の子どもたちは授業内容を真剣に話し合っていない。人の発表もちゃんと聞かず自分の学びになっていないように見えました。4月以降仕事を退職し、子どもの学力を上げるため自宅で親子で頑張ろうと考えていますので、今回の教育フォーラムのお話を参考にさせていただきます。
- 今回の内容は教職員向けのような気がしました。ただ、家庭学習のお話は参考にさせていただいて、もう少し子どもに親の方からかわってほしいと思います。
- 分かっているようで行動できていないことが多かったなと思いました。家庭学習が少ない。早寝・早起き・朝ごはん。習い事で寝るのが遅くなり、起きるのも遅くなってしまふ。起きるのが遅く朝ごはんを落ち着いて食べることができない。我が家は朝ごはんを必ず食べるので少し遅れて登校することもあります。（遅刻ではないのですが）。児童数が少ないのでしょうか？1クラスの児童数が少ないため、指導する時間も多くなるとできるのかなと思いました。もし児童数が四條畷と変わらないのであればすごいことだと思います。雪が多いから勉強する？我が家は雪が多かったらゲームをしてしまふと思います。昔はもっと遊ぶ場所があったので、環境の違いもあると思います。少人数の方が指導しやすいのであれば、小中の校区改正も、しばらくはなくていいのでは？
- 志水先生のお話は昨年に続けてお聞きしましたが、今の大阪の現状をしっかりと見つめられ、大阪の力を信じて努力する勇気を与え下さるお話です。この話を聞いた皆が今度は自分たちが動く番です。パネルディスカッション「子ども主体の授業」はすべての根っこだと改めて感じました。パネリストの先生方の真剣さが伝わりました。すべての学校の先生にその真剣さが伝わればと思います。大変良いフォーラムでした。来年も楽しみにしています。
- 日常生活がとても大切だということを身にしみてよくわかりました。家庭学習ができる環境を整えてあげたいと思いました。
- 秋田県の学力の高い理由を聞いていて、なんか納得できました。多賀谷先生が「めあてを具体的に」といって、はじめのめあてを例に出された時、「その何があかんの？」と思いました。そのあとの具体例を聞くと確かにすっきりと「この時間で何を勉強するか」が分かるなあと思いました。教委から視察に来て、授業改善のアドバイスをするとかいいなあと思います。府教委、君が代の口元チェックとかしている場合じゃないですよ。毎授業、全学年1時間ごとに何を学ばないといけないか、焦点化されたこと等とても大変だったと思いますが、子どもたちが授業を理解するために何よりも大切だったのではと思います。家庭学習は、家でも悩みどころです。親も安易に楽な方に流れてしまい、つい「今日はもういいか」とかと思いますが、毎日続けて定着していかないと、いつまでも子どもにその力が身につかないのかなと思いました。
- 家庭学習の習慣づけに親として努力したいと思いました。
- 話の内容はよかったが、案内がわかりにくく、受付係の対応も今一つだった。今後、小中学校の廃校や新しい施設の建設よりも、指導者の育成に力を入れてほしい。建造物よりも学習プログラムに

力を入れて欲しいし、新しい学校よりも全児童生徒にタブレット端末を導入するくらいのことをしていないと他市への若い世代の流出は止められないと考える。私の座席近くの教員が数人居眠りされているのが残念でした。

- 県民性の違いが出ると思いますが、結果というものは今日、明日すぐに出るものではないと私は思います。本来、日本人が持っていたものを秋田の先生から感じましたので、もう一度日本の国民性の良さを掘り起こすことも大事だと思います。
- 地域性やいろいろな面で同じような取組みはすべて難しいと思いますが、できるだけみんなが頑張っていて子どもを見守っていく姿勢で子どもたちに伝わればいいですね。今日はありがとうございました。
- 今日のお話を生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 学校でも家庭学習ノートをぜひ取り入れてほしいです。
- 秋田型授業スタイルには、学力向上につながる根拠があるのだなああと勉強になりました。四條畷市の先生方には、授業内容向上に、より一層取組み頂きますよう期待します。ただ、お話の中では県民性の違いもあるのではとすごく感じました。大阪でもすべて同じようにというのは難しい気もしました。
- フォーラム開催ありがとうございました。今回は家庭での取り組み方などを学べたらと思い参加しましたが、先生方の研修だったのだなああと少々残念でした。ですが、先生方もいろいろ研究などしてくださっていることに感謝いたします。最近の授業参観がどうも算数・国語など親が家庭学習をサポートするのに知りたいのに行われず、図工や体育、コンピュータなどで疑問を持っていました。また、宿題も毎日同じで、量も少なく塾に行っている子を配慮していると思えてなりません。秋田のように、せめて小学校は塾に行かずに学力がつけばと望みます。学校での成績は悪くないのに、中学入試問題や全国学力テストBはほとんど解けないのは、親としてはどうしたらいいのだろうと毎日悩んでいます。四條畷市の学力が茨木市のようになればうれしいです。期待しております。知りたいこと。①学校でどのような授業教え方（4教科）をしているのだろうか？②家庭学習はどのようなものをさせるといいのだろうか？③子どもがわからない問題、どうやってフォローすればいいのかわからない。やっぱり塾なのか？
- 家庭学習の大切さを実感しました。よいフォーラムありがとうございました。
- 授業参観でこのような授業をしているのを見たことがあります。秋田のやり方が一般的になればと思いました。家庭学習を考えるきっかけになりました。教師、保護者が子どものことを考えられるようになりたいです。
- 秋田型授業スタイルにおける「学び合い」を自分の子ども・クラスでされることを想像したとき、先生の力量が大変必要のように思えました。課題からまともにスッと入っていけるのかどうか、話し合い、学び合いで出た意見によって、話がばらけてしまわないのか？課題（めあて）の提示に「知的好奇心」は必要か、課題の面白さは「学び合い」の時間で出てくるものではないだろうか？「多文化、多価値の社会の中で、自らの役割を果たす」ことと「群れる力」との関連をもう少し聞きたかった。
- 勉強をやらないうちにも勉強をさせるには、まず子どもにやる気を出させないといけないと思うのですが、秋田県の先生の100%提出させるということに気迫を感じました。「出さない子をそのままにするのは見捨てること」に納得しました。親も子どもを見捨ててはいけないんだなと思いました。校長先生の存在の大切さがわかった。
- 保護者側として、生活習慣を大切にすることを改めて感じました。仕事で保育士をしているので、子どもたちの話し合いの時間を持つということは、幼保小のつながりの中で、取り入れていけるも

のだと思いました。先生方も毎日の授業の取組みは大変だとは思いますが、子どもたちがいきいきと楽しめる時間を過ごせるように学んでいただけたらと思います。

- 志水先生のお話分かりやすかったです。ありがとうございました。
- 将来教員をめざす児童生徒に聞かせたいと思いました。今日この場に来られなかった先生方と保護者にも、このフォーラムの内容を知らせてほしいです。
- すごく勉強になりました！！親としても、子どもの関わり方を考えます。規則正しい生活にするようところがけします。秋田に負けない大阪府民、学力向上めざします！（今日紹介された本を私も読みます）多賀谷先生は優しい口調で、結構厳しかったです。でも共感できることがいっぱいありました。一言コメントを書く場面が多々ありますが、つい簡単になってしまい、これからは時間をかけてコメントしたいです。
- 昨年度のフォーラムにも出席させていただきましたが、昨年を踏まえた内容で、とてもよかったと感じています。また、家庭での取組みのアドバイスも具体的にいただいて、ころあらたにしました。このように継続的に同じテーマで内容を深めて次回も開催されるとよいのになあとと思います。また、市内の小中学校の取組みを発表する場として、このフォーラムが定着していくことを保護者として願います。
- 秋田県の実践の中で、「家庭学習ノートへの保護者からの一言」など、学校と家庭との結びつきの強さに感銘を受けました。保護者として、そんなことから始めていければと思います。
- 去年よりは先生向けのお話のように感じました。将来、教員をめざす高校生、大学生にとっては、とても実になる内容だったように思います。私は家庭から手を差しのべたいです。
- 家庭学習の大切さと、学校任せでなく家庭地域も学校現場と連携し合って、子どもの成長を促すことが大事であると気づきを得ました。どうもありがとうございます。今日から一つずつできることを取り入れていきます。
- 保護者に向けてより、先生方に聞いてほしい話が多かったと思います。
- 保護者より、もっと多くの若い先生方に志水先生、多賀谷先生のお話を聞いていただきたいと思いました。めあて、学び合い、まとめという秋田スタイルに、実際、四條畷（大阪）で行うとなると、難しいのかなとも感じました。ためになる楽しいご講演ありがとうございました。
- 先生方の授業のやり方は、それぞれあっていいと思います。その中で、秋田型授業スタイル、めあて、学び合い、振り返り、この3ステップで子どもたちの学力が上がるのであれば、ぜひすぐにも実行してほしいです。戸惑う若い先生にも、このステップがあれば授業のやりやすさが出てくると思います。志水先生の「群れる力」の話が印象的でした。「つながっている」や「コミュニケーションをとる」の意味を携帯で行うことと勘違いしている人が多いです。自分の力で考えること、人間と人間のコミュニケーションをとることの本当の意味をもっと考えるべきだと思います。家庭学習の大切さを改めて感じました。親子のつながり＝家庭学習につながります。取り組まなければますます学習の格差ができます。ぜひどの家庭でも取り組んでほしいと思います。
- 志水先生も多賀谷先生も話が分かりやすく具体的で面白かったです。花岡先生の熱心さが伝わって好感が持てました。去年の教育フォーラムより、実践的な内容でしたね。目からうろこ…というか、やっぱりそうなんだ、と思ったのが「面白い授業」「子どもがいきいきとする授業」が子どもを変えるというところです。保護者としては「家庭が大事」とか「荒れている家庭の子は…」とか言われるとほんとにしんどくて、自分の子で精一杯のところ「地域としてかわかって…」とばかりおろされとつらかったです。志水先生が「まずクラスをつくって学習を伸ばすところから大阪は始まる」といわれましたが「クラスつくる」のが先と考えすぎず「先生が面白い授業でひっぱってくれる」そこからの子どもの学力づくり、家庭につながっていくように期待します。

- 保護者として参加させていただきました。どちらかというと学校と秋田県お話が多かったと感じました。家庭での子どもへの教育を考えたいと思いました。

地域関係者

- 第2次ベビーブーム世代です。僕のところはいろいろな授業（面白い、つまらないなど）をする先生がいましたが、今ほど学力は低いことはなかったと思います。個々がこれくらいはできないと恥ずかしい（例:これくらいの計算はできないと、これくらいの漢字は書けないと、これくらいのことは知らない）という思いがあって勉強が嫌でも努力していたと思います。それを考えると今の時代、秋田県のように先生が授業プランを確立させてあげないと学力が向上しないのは悲しい時代になったなと思いました。その点でもう一度、小学校就学前の子どもたちの教育をしっかりと考えていく必要があるのかもしれませんが。→苦手なことでも頑張っただけでも努力する子どもを育成する。
- 孫の勉強の仕方を理解するために参加しました。あまりどうかかわるかはわかりませんが、秋田県の取組みの大切さと大阪との比較など学ばせて頂き、ありがとうございました。
- 秋田の例で先生の努力は相当なものと思いますが、先生の労働時間とか心の問題はないのか感じました。また地域の人の協力、PTAの人の協力をもう少し聞きたかった。当方は毎朝「子ども安全みまもり隊」として約150名の児童に「おはよう」の声かけと交通安全指導をしています。
- 地域力の大切さがよく分かりました。「まちのせんせい」も視野に入れ、四條畷型教育モデルを構築してください。ねらい→話し合い→まとめの授業のスタイルの高まりを私自身も南小の「命のプロプログラム」の実施の中で感じました。
- 「秋田では都市部より、農村部の学力が高くなったのはなぜか」を聞きたかった。「グループで話し合う前に一人で考える時間が必要」その通りですね。そのスタンスは教師にも言えますね。トップダウンではなくボトムアップが大切でしょう。だとすれば「指導主事が大切にされる」よりもっと大切にされるべきは先生一人ひとりですよ。その意味で先生の精神疾患や休職者の率はどののでしょうか。30人以下の学級が大阪は41%で秋田は73%（数年前の資料）です。学級人数を減らすことで行き届いた教育を実現することは有効なのではないでしょうか。
- 講演会はわかりやすく参考になりました。パネルディスカッションは時間が短く盛り上がりは感じなかったが、多賀谷先生には一生懸命説明していただき、ありがとうございました。資料を後で見直します。
- 学校の規模及びクラスの規模が小さい、少ないことで生徒・児童に対する目配りが行き届き、個人の学力の習熟には良いと思う。四條畷市内の各町会（自治会）は、もっと子どもたちの健全育成に注力すべき。ただし、学校側も地域への情報発信をすべき。
- 昨年に引き続いての志水先生の講演は、とても勉強になります。毎年、同じテーマの内容で変化を伝えていただきたいと思います。秋田県の取組みをうかがい、改めて児童、学校、環境の違いを感じ、親の立場から言わせていただければ同じ義務教育で、こんなにも違うのかと残念な気持ちも正直あります。親としてできることは、家庭教育の確立、そしてそれを広めていくことだと思いました。今日はありがとうございました。
- 今日は初めて参加させていただきました。「話し合い活動」の授業を「目的ではなく手段」として考えたことがなかったので、それに気づけたことが今日のフォーラムの大きな収穫です。教員をめざすものとして、今日のフォーラムで勉強になったことを胸にこれからも励んでいきたいです。

市職員

- お話を伺っていて良循環が秋田では起こっているということを感じました。「人を育てる」ということの大切さ、地域の将来を担う子どもをどう育てていけばよいかということを考えるきっかけをいただけたと思います。志水先生のお話では人（地域）とのつながりが、子どもの学力に関係するということをお話しされていました。何かに関心を持ち、「見える化」して見直してより良いものをつくる、それが地域を育て、少子化時代の地域活性化の方法になりえると思います。平均だけでなく、「高レベルの子としんどい子」という具合に細分化して対象に応じた対策を考えられているということは、とても素晴らしいと感じました。

市議会議員

- 本日はありがとうございました。

